



小児細菌性髄膜炎の予防接種について

**Hibワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンは、
乳幼児の細菌性髄膜炎などを予防する子ども用ワクチンです！**

子どもの細菌性髄膜炎の主な原因菌には、インフルエンザ菌 b 型 (Hib) と肺炎球菌があります。この2つの菌が細菌性髄膜炎の原因の約90%を占めています。どちらもワクチンがあり、それが Hib (ヒブ) ワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンです。

Q Hibってどんな菌？

A インフルエンザ菌 b 型 (Hib) という細菌です。昔、冬に流行するインフルエンザの原因菌と間違われたので、インフルエンザ菌という名前がついてしまいました。ヒブはふだん小さいお子さんの鼻の奥に潜んでいます。細菌性髄膜炎の約60%がインフルエンザ菌 b 型の感染により起こります。

Q 肺炎球菌ってどんな菌？

A ノドや鼻の奥にいるとても身近な菌です。細菌性髄膜炎の約30%が肺炎球菌の感染により起こります。特に2歳未満のお子さんは免疫がないため感染しやすく、肺炎のほかにも中耳炎や菌血症という病気を引き起こします。

Q 細菌性髄膜炎にかかる人はどのくらい？

A 日本では、年間 1,000 人も子どもが細菌性髄膜炎にかかっていると推定されています。鹿児島県では、年間 15 人程度の患者が発生しています。

市で全額助成する、任意予防接種のワクチンです。

Q 任意予防接種とは、どういうことですか？

A Hib ワクチンも小児用肺炎球菌ワクチンも、任意予防接種です。任意予防接種とは、希望する人 (赤ちゃんの場合は、保護者が判断することになります) が自己負担して受ける予防接種です。接種を希望される方は、医師からその効果と副反応について十分に説明を受けたうえで、接種するかどうか決めてください。



接種料金は、伊佐市で全額助成します！

対象年齢は生後3か月から3歳未満です！

~~~~~裏面もご覧ください~~~~~

## 接種する月齢によって接種回数が異なります。

Q 具体的な接種時期をおしえてください。

A Hibワクチンも小児用肺炎球菌ワクチンも、接種スケジュールは、初回の接種を始めた年齢により異なり、年齢が大きくなるにつれて接種回数が変わります。

**具体的な接種回数は、接種医療機関でお尋ねください。**

Q 副作用が心配なのですが...？

A Hibワクチンにおいては、注射部位の発赤、はれ、しこり、などの局所反応が主です。

小児用肺炎球菌ワクチンにおいては、注射部位の発赤、はれなどの反応が出る確率が高い傾向にあり、また、接種後37.5以上の発熱などがみられることがあります。これらの副作用は通常そのまま2～3日後には改善します。接種に際しては、医師とよくご相談ください。

Q 先に他の予防接種を受けたのですが、すぐ接種できますか？

A 生ワクチンの接種を受けた場合は、通常27日以上、また他の不活化ワクチンの接種を受けた場合は、通常6日以上間隔をおいて接種してください。わからないときは医療機関又は市健康増進課へご相談ください。

## 予約なしでは、受けられません。

Q Hib ワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種を受けたいのですが、どういう流れですか？

A (1)実施医療機関は**県立北薩病院** と **寺田病院** です。**三種混合の予防接種と同時に予約をしてください。**

(2)医療機関がワクチンを予約し、ワクチンが納品されます。

(3)予約した日(三種混合接種日)に、医療機関備え付けの『Hib予防接種予診票』・『小児用肺炎球菌ワクチン予防接種予診票』に必要事項を記入します。

(4)予診票を記入後、診察をしてワクチンを接種します。

(5)接種料金は**無料です。(市が助成します。)**



予約はコチラ  
各医療機関へ  
お電話を。

◆北薩病院 tel(22)8511 ◆寺田病院 tel(22)1321

問い合わせは、伊佐市役所 健康増進課 健康推進係 tel 23-1311(1217)まで

~~~~~裏面もご覧ください~~~~~